

# 市政ひろば



## 子育てネットワーク推進協議会が設立 地域ぐるみで子育て支援



▲青戸県民生活部長から会旗を受ける芝会長

地域ぐるみで子育てを支援していくことと、十一月十四日、「南あわじ市子育てネットワーク推進協議会」(芝壽浩会長)が設立されました。

三原公民館で「南あわじ市子育てフォーラム」が開催され、その席上で青戸忠明淡路県民局長生活部長から委嘱状と会旗の伝達が行われました。

## ゆーぷる来場者

### 50万人達成

### オープンから3年8か月

南あわじリフレッシュ交流ハウス「ゆーぷる」(北阿万)では、十一月二十七日、オープンから約三年八か月で来場者数が五十万人を突破しました。五十万人目の来場者となった武田千栄子さん(洲本市)へ川野四朗助役と保居謙志南淡町商工会福良支部長から記念品と花束が手渡されました。

武田さんは「露天風呂と肌がつかるとなる温泉が好きで、家族でよく来ています。まさか五十万人目になるなんて、突然のことで驚いた」と喜んでいました。



▲川野助役(左)と保居支部長(右)からの祝福を受ける50万人目の武田さん夫妻

## 市民の意見を市政に

### 1000人委員会が発足



▲1000人委員会発足式

市政運営の基本方針である「市民が主役のまちづくり」の推進役を担う「南あわじ市1000人委員会」の発足式が十二月十日、三原市民センターで行われました。

「『夢』と『知恵』と『元氣』を出して、前例にとらわれないこと、何気ない発想や、型にはまらない自由な議論を積み重ねて住みよい南あわじ市の実現に向けた提言をいただきたい」と期待を込めました。

## 人と人が温かくふれあう

### 南あわじ市人権フェスティバルを開催



▲車椅子バスケットボールに挑戦

人権尊重の文化にあふれた差別のない明るいまちづくりの実現に向け、十一月二十日、三原公民館および市小学校で人権フェスティバルが開催されました。

市小学校では、はしご車の昇降体験や救急車の展示のほか、明和バスケットボールクラブを招いて、車椅子バスケットボールの試合観戦や体験を実施。参加した子どもたちは車椅子に乗ってシニエーターに挑戦したほか、選手たちと交流を深めていました。



▲作文を披露する松帆小3年・和久翔輝くん

## 県住宅再建共済制度

わが家の安全・安心に加入しましょう  
年額5千円(加入初年度は月5百円)の負担で、被災した住宅の再建に大きな支援が得られる制度です。  
◆給付対象 半壊以上の被害を受けた加入者が対象で、住宅の再建や購入、補修等の時に給付されます。最大6百万円。  
☎防災課 ☎43-5006

南あわじ市では昨年、職員の非常参集訓練を実施したほか、各地区でも様々な防災訓練が行われました。

## 防災ひとくちメモ

防災課 ☎43-5006



▲消防団から消火栓の使い方を学ぶ住民(湊)

消防会では、夏から調整を進めていた避難誘導連絡員が、漁協のサイレンを合図に各戸に声をかけての避難訓練を実施し、九十七世帯百二十一人が避難しました。また併せて、備蓄食料の炊き出し訓練も行われました。